

皮膚科

田所文嗣

当科では、国立病院機構が担うべき医療のなかでも皮膚腫瘍を含めた皮膚がんを中心に重点を置いた診療に従事しており、皮膚がんの適切な診断と治療を診療内容の基本として、外科的ならびに内科的対応が可能です。当院は、皮膚がんに対する手術療法ならびに化学療法、放射線療法などの集学的な治療を行うことが可能な施設であり、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医をはじめ優れたスタッフと恵まれた医療設備のもと、皮膚がんに対する正確な診断と十分な説明、事実裏付けられた治療をモットーに、皮膚がん患者の社会的な生活の質を第一とした診療を行い、皮膚がんの中核病院としての役割を果たすべく責任を持って診療にあたっています。皮膚腫瘍の診断は容易ではないものも多いためダーモスコピーによる非侵襲的な検査を行い、RI法と蛍光色素法を併用した悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検を導入し、臨床検査科病理部門との合同カンファレンスを行うことで診断精度を高めるとともに、治療方針を含めたセカンド＝オピニオンの要請にも十分に応えられる体制を整えています。また、皮膚がん切除後の組織欠損に対しても、整容面や機能面に配慮した皮膚外科的な対応を行っています。更に、当科では、下肢静脈の弁不全によって発生する下肢静脈瘤に対する専門外来を開設し、非侵襲的な超音波ドップラー検査や脈圧波測定検査を用いた専門的な診療を行うとともに、保存的治療に加えて、短期入院による下肢静脈瘤用レーザー治療を含めた外科的手術を数多く経験し、良好な治療成績を残しています。一方、パッチテストによる金属アレルギー等の接触皮膚炎の診断と治療、あざの相談と治療など専門性の高い診療にも対応し、難治性皮膚疾患に関しても、地域の医療施設や近隣の総合病院から専門的な診療を要する患者を積極的に受け入れるとともに、当院加療中の他科患者の皮膚疾患についても責任を持って診療にあたっています。以上のような当科における診療内容の性格上、病状説明や検査、処置等には十分な時間をかけ、安定期患者には密接な病診連携のもとに地域の医療機関における継続診療を勧めつつ、他の医療機関から広く紹介患者を受け入れることで地域の医療ニーズに積極的に応えるよう努力しています。なお、当院は大学病院以外では数少ない日本皮膚科学会認定専門医主研修施設に指定されており、皮膚科専門医育成のための医師教育にも取り組んでいます。

【2013 年度研究発表業績】

A-0

Coelho SG1, Zmudzka BZ, Yin L, Miller SA, Yamaguchi Y, Tadokoro T, Hearing VJ, Beer JZ. Non-invasive diffuse reflectance measurements of cutaneous melanin content can predict human sensitivity to ultraviolet radiation. *Exp Dermatol* 2013;22(4):266-271 (2013 年 4 月)

A-1

田所丈嗣：扁平母斑「皮膚科臨床アセット 15;母斑と母斑症」古江増隆、71-75、中山書店、東京、2013 年 9 月

A-3

東 祥子、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：尋常性天疱瘡から落葉状天疱瘡への移行例「皮膚の科学」12 (2):P.83-86、2013 年 4 月

池田 彩、宮本麻美、永松麻紀、小澤健太郎、田所丈嗣：萎縮性皮膚線維腫の 1 例「皮膚の科学」12 (3):P.207-210、2013 年 6 月

池田 彩、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、詫間智英子、玄 富翰：老人性血管腫の皮膚生検が診断に有用であった血管内大型 B 細胞リンパ腫の 1 例「臨床皮膚科」67 (10):P.792-796、2013 年 9 月

B-4

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣、久志本東：脂腺母斑を母地として多様な続発性腫瘍が認められた 1 例。第 112 回日本皮膚科学会総会、横浜、2013 年 6 月

B-6

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：ウイルス性筋炎に伴った酒皸の一過性増悪。ひふ勉強会、大阪、2013 年 4 月

小澤健太郎、宮崎明子、永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、田所丈嗣：頭部に生じたアポクリン汗嚢腫。ひふ勉強会、大阪、2013 年 5 月

小澤健太郎、宮崎明子、池田 彩、宮本麻美、永松麻紀、田所丈嗣：頭部に生じた囊腫状皮下腫瘍。第 58 回湾岸勉強会、神戸、2013 年 6 月

小澤健太郎、宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：ボーエン病の局面内に発症したメルケル細胞。ひふ勉強会、大阪、2013 年 7 月

宮崎明子、宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣：単クローン性免疫グロブリン血症を伴ったびまん性扁平黄色腫の 1 例。第 106 回近畿皮膚科集談会、大阪、2013 年 7 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：無治療で自然緩解した尋常性天疱瘡。ひふ勉強会、大阪、2013 年 9 月

宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：Bullous Grover 病と考えた 1 例。第 206 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2013 年 9 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮崎明子、池田 彩、宮本麻美、田所丈嗣：脂漏性角化症内に生じた汗孔腫。第 59 回湾岸勉強会、神戸、2013 年 10 月

宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、川津智是：爪甲下に生じた superficial acral fibromyxoma の 1 例。第 64 回日本皮膚科学会中部支部学術大会、名古屋、2013 年 11 月

小澤健太郎、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、永松麻紀、田所丈嗣：生検後に自然消退した lichen-planus like keratosis。第 274 回大阪ひふ勉強会、大阪、2013 年 11 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：前頭部の皮下腫瘤を呈したケラチン肉芽腫の 1 例。第 207 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2013 年 11 月

宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、高安 進：難治性の陰部皮膚潰瘍から HIV 感染症が判明した 1 例。第 440 回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2013 年 12 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：鼻背に生じた primary dermal melanoma の 1 例。第 275 回大阪ひふ勉強会、大阪、2013 年 12 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：右環指の Reed 母斑の 1 例。第 276 回大阪ひふ勉強会、大阪、2014 年 1 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：陰囊多発性石灰沈着症。第 60 回湾岸勉強会、神戸、2014 年 2 月

永松麻紀、池田 彩、野口史人、宮崎明子、今中愛子、小澤健太郎、田所丈嗣、土居敏明、種村 篤：鼠径リンパ節および原発巣の自然消退を認めた足底の悪性黒色腫の 1 例。第 441 回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2014 年 2 月

小澤健太郎、東 祥子、永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：Annular elastolytic giant cell granuloma の 1 例。第 278 回大阪ひふ勉強会、大阪、2014 年 3 月

B-8

小澤健太郎：関連疾患のご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2013 年 4 月

田所丈嗣：病理学各論 V（皮膚）。国立大阪医療センター附属看護学校講義、大阪、2013 年 4 月

田所丈嗣：褥瘡-なりたちと治療-。国立大阪医療センター褥瘡研修会、大阪、2013 年 6 月

小澤健太郎：薬疹について。第 43 回おおさか健康セミナー、大阪、2013 年 7 月

永松麻紀：下肢静脈瘤について。第 43 回おおさか健康セミナー、大阪、2013 年 7 月

田所丈嗣：皮膚がんについて。第 43 回おおさか健康セミナー、大阪、2013 年 7 月

田所丈嗣：皮膚外科。大阪大学医学部講義、大阪、2013 年 10 月

小澤健太郎：関連疾患のご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2013年10月

B-9

田所丈嗣：メラノーマ。読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、全国、2013年7月